

□ 保健福祉学部 保健福祉学科コミュニケーション障害学コース（令和8年度入学生）

	授業科目の名称	配当年次	開講期		単位数			授業時間数	担当教員 ()は学外講師 ☆マークは代表教員	備考
			前期	後期	必修	選択	要件外			
初年次導入	大学基礎セミナー	1	●		1			30	☆田中睦・山中・渡辺・上野・小野・古屋・今川・永野・吉田・崔	2単位以上 必修2単位
	アカデミック・ライティング	1	●		1			30	☆小澤・岡田淳・井上・中垣・岡村・岩崎・織田・長谷川純・勝見・吉田	
	クリティカル・シンキング	1		●		1		30	☆金指・田口勝・加藤・増本・佐藤勇・久野・池内・古屋・米倉・伊藤	
外国語	英語基礎	1	○				1	30	河村	卒業要件外 6単位以上 必修4単位 選択2単位以上 中国語・韓国語・ドイツ語は各言語の母語話者、及び授業の目標・内容を上回ることが明らかなレベルの言語能力を履修登録時にすでに有する者の受講は認めない。 アカデミック日本語Ⅰ・Ⅱは外国人留学生のみ履修可、集中講義
	英語総合Ⅰ	1	○		1			30	高島	
	英語総合Ⅱ	1		○	1			30	本岡	
	英語総合Ⅲ	2	○			1		30	本岡	
	英語総合Ⅳ	2		○		1		30	高島	
	英語表現Ⅰ	1	○		1			30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅱ	1		○	1			30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅲ	2	○			1		30	岩崎・(マコート)	
	英語表現Ⅳ	2		○		1		30	岩崎・(マコート)	
	中国語Ⅰ	1・2		●		1		30	(徐)	
	中国語Ⅱ	1・2		●		1		30	(徐)	
	韓国語Ⅰ	1・2	●			1		30	(鞠)	
	韓国語Ⅱ	1・2		●		1		30	(鞠)	
	ドイツ語Ⅰ	1・2	○			1		30	(小田)	
	ドイツ語Ⅱ	1・2		○		1		30	(小田)	
アカデミック日本語Ⅰ	1・2	○			1		30	中石		
アカデミック日本語Ⅱ	1・2		○		1		30	中石		
スポーツ	スポーツ実技Ⅰ	1	●		1			30	(弘中)・(武藤)・(村上)	1単位以上 必修1単位
	スポーツ実技Ⅱ	2		●		1		30	(武藤)	
	保健体育理論	2		●		2		30	(武藤)	
学際知	哲学	1・2・3・4	○			2		30	大草	6単位以上 選択6単位以上 家族社会学 令和8年度のみ非開講
	文学	1・2・3・4	○			2		30	福田	
	芸術	1・2・3・4		○		2		30	(佐々木悠)	
	心理学	1・2・3・4		○		2		30	古屋	
	社会学	1・2・3・4	○			2		30	(吉田耕)	
	歴史学	1・2・3・4	○			2		30	岡本	
	倫理学	1・2・3・4		○		2		30	大草	
	経済学	1・2・3・4	○			2		30	山根	
	科学史	1・2・3・4	○			2		30	☆村田、馬本、尾崎、福永、八木、米村、岩田、小林、長尾、吉野、松崎	
	生命倫理	1・2・3・4	○			2		30	☆古山・(吉川ひ)	
	家族社会学	1・2・3・4		○		2		30	澤田	
	文化人類学	1・2・3・4	○			2		30	上水流	
	日本国憲法	1・2・3・4	○			2		30	岡田高	
	食と健康	1・2・3・4		○		2		30	長尾	
	いのちと科学	1・2・3・4	○			2		30	加藤	
	環境と科学	1・2・3・4	○			2		30	☆内藤、川辺	
	生活に役立つ力学	1・2・3・4	○			2		30	(吉野)	
	地域社会と言語	1・2・3・4		○		2		30	小川俊	
	ヒトの動きを学ぶ運動学	1・2・3・4	○			2		30	金井、長谷川正、岡村	
免疫と感染	1・2・3・4		○		2		30	菅井		
数理解・デジタル	ICTリテラシー	1	●		1			30	細川	5単位以上 必修5単位
	データサイエンス	1		○	2			30	野呂	
	情報社会と法	1・2・3・4		○		2		30	岡田高	
	基礎数学	1・2・3・4		○		2		30	岩田	
	統計入門	1・2・3・4		○		2		30	飯田	
地域課題	国際社会の理解	2・3・4		○		2		30	☆上水流、岡田高、村上、柳下、手島	2単位以上 選択2単位以上
	地域情報発信論	2・3・4	○			2		30	☆広谷、藤井宣、吉田	
	地域教養ゼミナールA(エリア型)	2・3・4	○	○		2		30	担当教員	
	地域教養ゼミナールB(テーマ型)	2・3・4	○	○		2		30	担当教員	
	地域教養ゼミナールC(複合型)	2・3・4	○	○		2		30	担当教員	
キャリア開発	キャリアビジョン(デベロップメント)	2・3・4	○			2		30	原田淳	2単位以上 選択2単位以上
	ライフデザイン	2・3・4	○			2		30	☆岡田高、田中聡子、村上、川畑	
	ボランティア	2・3・4	○			2		30	手島	
	インターンシップ	2・3・4		○		2		30	原田淳	
	リーダー論	2・3・4	○			2		30	☆原田淳、吉永	
ダイバーシティ	多様性理解(ジェンダー論)	2・3・4		○		2		30	松高	2単位以上 選択2単位以上
	人間関係論	2・3・4		○		2		30	勝見	
	人権論	2・3・4		○		2		30	岡田高	
	世界の宗教	2・3・4		○		2		30	☆上水流、工藤、目黒	
	世界の言語と文化	1・2・3・4		○		2		30	☆河村、馬本	
	海外研修	1・2・3・4	認定	認定		2		30	本岡・高島	
全学共通教育科目選択(上記の科目から選択) ※この他20ページ「全学共通教育科目選択」に記載のものも全学共通教育科目選択とすることができる。										4単位以上
小計(A)						30				30単位以上

授業科目の概要

□ 保健福祉学部 保健福祉学科コミュニケーション障害学コース（令和8年度入学生）

	授業科目の名称	配当年次	開講期		単位数			授業時間数	担当教員 ()は学外講師 ☆マークは代表教員	備考		
			前期	後期	必修	選択	要件外					
授 業 科 目 の 概 要	人間と社会生活の理解に関する科目	科学と医学	1	●		1			15	田口垂、藤巻、森、山下	必修4単位以上	
		解剖学概論	1	●		1			15	田口勝		
		生理学概論	1	●		1			15	森		
		微生物と人間	1		●		1		15	加藤		
		人間発達学	1		●		1		15	山下		
		発達心理学	1	●			1		15	古屋		
		生活環境科学	2	●			1		15	吉田		
		福祉と社会問題	2	●		1			15	坊岡、金子		
		小計 (B)					4					4単位以上
		授 業 科 目 の 概 要	地域包括ケアシステムを進展させる科目	保健福祉概論	1	●		1				15
保健医療福祉行政論	3			●			1		15	菅井		
地域包括ケアシステム論	2				●	1			15	金子、俵、積山		
チーム医療福祉論	1			●		1			15	渡辺・梅井・三木・津田・永野		
チーム医療福祉演習	4				○	1			30	越智ほか		
小計 (C)							4				4単位以上	
授 業 科 目 の 概 要	専門領域理解の基礎となる科目	臨床心理学	1		●	1			15	勝見	必修15単位以上	
		カウンセリング論	2		●	1			15	勝見		
		病理学	1		●	1			15	(伊藤)		
		薬理学	2	●		1			15	(柳瀬)		
		生体機能学	1	●		1			15	森		
		神経生理学	1		●	1			15	森		
		臨床栄養学	1		●	1			15	(瀬尾)		
		内科学	2	●		1			15	(奥崎)		
		神経内科学Ⅰ	2		●	1			15	森、(田尻)		
		神経内科学Ⅱ	2		●	1			15	森、(田尻)		
		精神医学	2	●		1			15	藤巻		
		小児科学	2		●	1			15	山下		
		リハビリテーション医学	2		●	1			15	(三上)(越智)		
		医療安全学	2		●		1		15	田口垂		
		救急医療	2		●	1			15	(武田)		
		エンドオブライフ・ケア	3	●			1		15	渡辺、田中聡		
		保健医療福祉関係法規	1	●		1			15	西田、岡田ゆ、細川、越智		
小計 (D)					15				15単位以上			
合計 (A+B+C+D)					53				53単位以上			

□ 保健福祉学部 保健福祉学科コミュニケーション障害学コース（令和8年度入学生）

	授業科目の名称	配当年次	開講期		単位数			授業時間数	担当教員 ()は学外講師 ☆マークは代表教員	備考
			前期	後期	必修	選択	要件外			
基礎科目	言語理論と言語心理	1		●	2			30	(林)、(松見)	必修20単位
	音声学Ⅰ	1	●		1			15	津田	
	音声学Ⅱ	1	●		2			30	津田	
	音声・聴覚情報処理Ⅰ	1		●	1			15	伊集院	
	音声・聴覚情報処理Ⅱ	1		●	1			30	伊集院	
	言語発達	1		○	2			30	細川・堀江・小島	
	心理測定法	2		○	1			30	古屋	
	学習認知心理学	1	○		2			30	古屋	
	生涯発達心理学	3	○		2			30	古屋	
	解剖生理学演習	1		○	1			30	森・小澤・田口垂・田口勝	
	脳機能画像学	2		●	1			15	津田	
	耳鼻咽喉科学	2	○		2			30	田口垂	
	形成外科学	2	●		1			15	(永松、佐々木)、小澤	
	歯科口腔外科学	2	●		1			15	(大林、濱田、伊藤、山崎)	
	計(履修方法・卒業要件)					20				
専門領域科目 必修科目 の概要	コミュニケーション障害学概論	1	●		1			15	小澤・坊岡・長谷川純・津田・細川・吉澤	必修36単位
	コミュニケーション障害学診断法	2		○	2			60	中村・津田・吉澤・坊岡・堀江・小島・細川・今川	
	言語聴覚療法管理学Ⅰ	2		●	1			15	佐藤紀 ほか4名	
	言語聴覚療法管理学Ⅱ	4	●		1			15	佐藤紀 ほか4名	
	発達系障害学概論Ⅰ	2	●		1			15	細川・堀江	
	発達系障害学概論Ⅱ	2	●		1			15	堀江・細川	
	発達系障害学演習Ⅰ(診断)	2		●	1			30	堀江・細川・小島	
	発達系障害学演習Ⅱ(評価)	3	●		1			30	細川・堀江・小島	
	発達系障害学演習Ⅲ(支援)	3	●		1			30	細川・堀江・小島	
	発達系障害学演習Ⅳ(総合・地域)	3		●	1			30	堀江・細川・小島	
	認知系障害学概論Ⅰ	2	●		1			15	津田・坊岡・中村	
	認知系障害学概論Ⅱ	2	●		1			15	中村・坊岡・津田	
	認知系障害学演習Ⅰ(診断)	2		●	1			30	坊岡・津田・中村	
	認知系障害学演習Ⅱ(評価)	3	●		1			30	坊岡・津田・中村	
	認知系障害学演習Ⅲ(支援)	3	●		1			30	津田・坊岡・中村	
	認知系障害学演習Ⅳ(総合・地域)	3		●	1			30	坊岡・津田・中村	
	聴覚系障害学概論Ⅰ	2	●		1			15	長谷川純	
	聴覚系障害学概論Ⅱ	3	●		1			15	佐藤紀	
	聴覚系障害学演習Ⅰ(基礎聴覚検査)	2	●		1			30	長谷川純・小島・今川	
	聴覚系障害学演習Ⅱ(補聴器)	2		●	1			30	長谷川純・今川	
	聴覚系障害学演習Ⅲ(小児聴覚検査)	2		●	1			30	佐藤紀・今川	
	聴覚系障害学演習Ⅳ(人工内耳)	3	●		1			30	佐藤紀・今川	
	聴覚系障害学演習Ⅴ(小児難聴・地域連携)	3		●	1			30	佐藤紀・長谷川純・今川	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅰ(音声障害・吃音)	2	○		2			30	田口垂	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅱ(構音障害)	2	●		2			30	小澤	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ(嚥下障害・頭頸部がんリハ)	3	●		2			30	吉澤・田口垂・中村	
	発声発語・嚥下系障害学演習Ⅰ(音声障害・吃音評価支援法)	2		●	1			30	田口垂・吉澤	
発声発語・嚥下系障害学演習Ⅱ(構音障害評価支援法)	2		●	1			30	小澤		
発声発語・嚥下系障害学演習Ⅲ(嚥下・頭頸部がんリハ評価支援法)	3	●		1			30	吉澤・田口垂・中村		
地域言語聴覚療法Ⅰ	1		●	1			15	津田・長谷川純・細川・坊岡・吉澤		
地域言語聴覚療法Ⅱ	4	●		1			15	細川 ほか4名		
コミュニケーション科学研究法	3		●	1			15	古屋・伊集院・細川・佐藤紀・田口垂		
計(履修方法・卒業要件)					36					
臨床実習	臨床実習Ⅰ	2		○	1			40	坊岡・小澤・佐藤紀・堀江・中村・小島・長谷川純・細川・津田・今川・吉澤	必修15単位
	臨床実習Ⅱ	3		○	10			400	坊岡・小澤・佐藤紀・堀江・中村・小島・長谷川純・細川・津田・今川・吉澤	
	臨床実習Ⅲ	4		○	4			160	坊岡・小澤・佐藤紀・堀江・中村・小島・長谷川純・細川・津田・今川・吉澤	
計(履修方法・卒業要件)					15					
卒業研究	地域課題解決研究	4		○		2		60		選択2単位
	卒業研究	4		○		2		60	坊岡・伊集院・古屋・小澤・佐藤紀・田口垂・細川・堀江・中村・小島・長谷川純・津田・今川・吉澤	
計(履修方法・卒業要件)					2					
小計					73					73単位以上
総合計					126					126単位以上

履修制限について

保健福祉学部履修要領により、専門教育特有の科目（必修科目に限る）の履修は、次の要件を満たしていることを履修の条件とする。

- 臨床実習Ⅱ
専門領域特有の科目のうち、専門必修科目であるコミュニケーション障害学概論及び地域言語聴覚療法Ⅰ、コミュニケーション障害学診断法、発達系障害学概論Ⅰ・Ⅱ及び演習Ⅰ、認知系障害学概論Ⅰ・Ⅱ及び演習Ⅰ、聴覚系障害学概論Ⅰ、聴覚系障害学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、発声発語・嚥下系障害学概論Ⅰ・Ⅱ及び演習Ⅰ・Ⅱ、言語聴覚療法管理学Ⅰと臨床実習Ⅰの単位をすべて修得していること。
- 臨床実習Ⅲ
臨床実習Ⅱの単位を修得し、さらに専門必修科目である発達系障害学演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、認知系障害学演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、聴覚系障害学概論Ⅱ及び聴覚系障害学演習Ⅳ・Ⅴ、発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ及び演習Ⅲの単位を全て修得していること。
- 卒業研究
臨床実習Ⅱとコミュニケーション科学研究法の単位を修得していること。
臨床実習Ⅲ、言語聴覚療法管理学Ⅱ、地域言語聴覚療法Ⅱの単位を修得見込みであること。